



# 愛知県消防職員意見発表会

## 結果発表

令和2年5月1日（金）愛知県消防職員意見発表会が開催（ビデオ審査）され、海部・知多ブロックの代表として出場していた、当消防組合の野村実里消防士長が優秀な成績を収め表彰されました。

この発表会は、尾張、東三河、西三河、名古屋及び海部・知多の各ブロックから選出された消防職員が業務に対する提言や取り組むべき課題等について自由に発表し、消防業務の諸問題に関する一層の知識の研さんや意識の高揚を図ることを目的としています。

本来ならば、令和2年4月10日（金）に愛知県東海市にて開催される予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、ビデオ審査という形で実施されました。



○優秀に選ばれた 野村実里 消防士長



○意見発表の様子

### 発表テーマ「救急要請に対する罪悪感」

野村消防士長は平成18年に消防士を拝命。以後、救急救命士としての知識や経験を活かし、救急指導等の普及啓発活動に力を注いできました。

また、家に帰れば2児の母でもあり、仕事に育児に日々奮闘しています。

発表テーマの「救急要請に対する罪悪感」は、野村消防士長が出場した、幼児のケガによる救急現場において、お母さんが「救急車を呼んで迷惑をかけてしまった。」「我が子に何もできなかった。」と罪悪感を抱いていると感じたことから、その罪悪感を少しでも軽くできるように一生懸命訴えかけました。野村消防士長、お疲れ様でした。

### 野村実里 消防士長 ～消防職員意見発表会を終えて～

「こんなことで救急車を呼んでしまってごめんなさい。」私の意見発表はこの言葉から全てが始まりました。この言葉はかつて、救急車を呼んだことによって罪悪感を感じたお母さんが私に申し訳なさそうにこぼした言葉です。現在、あの時のお母さんと同じ立場になった私が消防官という立場で出来ることはないか、という気持ちから先輩方にご協力いただき発表者として挑戦することとなりました。応援してくださった皆様、ありがとうございました。